

第五章 昭和十六年に於ける作戦

第一節 補給路遮断作戦

我軍の北部佛印進駐に伴ひ敵は南支及中支沿岸各地に海外補給点を設定し軍需物資の獲得に狂奔せり。之に対し我軍は敵の補給点と判断せらるゝ各地点に対し上陸作戦を行ひ軍需物資の奥地への輸送遮断の爲各所に作戦を實施せり。

即ち大本營は昭和十六年二月中旬支那派遣軍總司令官をして浙江省以北南支那方面軍司令官をして福建省以南支那沿岸に対し爾今夫々軍の一部を以て臨時封鎖を目的とする作戦を實施すべきを命ず。

右命令に基き南支那方面軍司令官は輸入地点及補給路遮断の爲各方面に対し上陸作戦を實施せり。其状況左の如し。

一 香詔路遮断作戦（昭和十六年二月）

甲支隊（歩兵三個大隊基幹）を以て白耶士灣に上陸し淡水、沙魚涌を占領し香港より紹興に送る物資を圍獲す。又別に乙支隊（歩兵三

簡大隊基幹一を深圳より龍崗墟を攻略せしむ。

三雷州方面遮断作戦（昭和十六年三月）

一 第一支隊（近衛師団の歩兵三箇大隊基幹）をして廣海寨、斗山附近に上陸台山を占領して其周邊及赤溪附近を掃蕩せしむ

二 第二支隊（近衛師団の歩兵三箇大隊基幹）をして大石崗を附近に上陸陽江を占領せしむ

三 第三支隊（近衛師団の歩兵三箇大隊基幹）をして電白水東市附近に上陸せしむ。

四 第四支隊（第四十八師団の歩兵三箇大隊基幹）をして雷州附近に上陸せしむ

五 第五支隊（第四十八師団の歩兵三箇大隊基幹）をして北海附近に上陸せしむ

六 吉武支隊（第三十八師団の歩兵三箇大隊基幹）をして新会附近より攻撃を開始し第一支隊と呼応し單水口附近を占領掃蕩せしむ

三、汕尾方面遮断作戦（昭和十六年三月―四月）

近衛師団の歩兵三箇大隊を基幹とする部隊を以て汕尾附近に上陸し、汕尾、海豊、陸豊附近を占領し、敵物資を押収す。

四、福州作戦（昭和十六年四月―五月）

第四十八師団の歩兵五箇大隊をして福州を占領せしめ

五、甲子附近遮断作戦（昭和十六年五月）

第四十八師団の歩兵一箇大隊をして甲子港及碭石に上陸し、該地附近を掃蕩す。

以上の如く、數次に亘り上陸作戦を敢行せしむる香詔路遮断作戦を除き、敵物資の押収意の如くならず、十分の作戦目的を達成し得ざりき。

## 第二節 南支那方面統帥組織の變更

既述の如く、昭和十五年九月、我軍の一部北滿、佛印に進駐せしが、更に南方よりする対重慶壓迫の強化、其他諸敵の要請に基き、日本政府は昭和十六

年七月佛國ツイシー政府に対し共同防衛の見地より交渉を進め七月下  
旬南部佛印にも駐兵することゝなれり。

斯る状況に於て大本營は昭和十六年七月五日南支那方面軍の戦闘序列  
を解き第二十三軍及第二十五軍の戦闘序列を令し第二十三軍に対して  
は印度支那に關する事項を除く南支那方面軍司令官の任務を又第二十  
五軍に対しては印度支那に關する南支那方面軍司令官の任務を夫々繼  
承せしめ此の態勢を以て十二月の大東亞戦争を迎ふることゝなれり  
第二十三軍及第二十五軍戦闘序列の概要左の如し。

左記

一 第二十三軍戦闘序列の概要

第二十三軍司令官

中將 今村

均

第二十三軍司令部

第十八師団

第三十八師団

0097

第四十八師団

第百四師団

獨立混成第十九旅団

第一獨立歩兵隊本部

獨立歩兵第六十六乃至第七十七大隊

獨立山砲兵第十聯隊

獨立山砲兵第二十大隊

迫撃第二十一大隊

獨立工兵第十五聯隊（甲）

獨立工兵第十九聯隊

獨立工兵第二十聯隊

電信第十四聯隊

三、第二十五軍戦闘序列の概要

第二十五軍司令官 中將 飯田 祥三郎

0098

第二十五軍司令部

近衛師団

獨立混成第二十一旅団

戦車第十四聯隊

野戦重砲兵第二十一大隊

高射砲第二十三聯隊

第二十一獨立飛行隊

獨立飛行第八十二中隊 (偵察)

獨立飛行第八十四中隊 (戦闘)